特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 258 号]　令和２年８月７日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

定例活動 6 袋とポリバケツ

8 月 5 日(水)、木村、篠岡、村田、藤田、井坂、中島の 6 名で活動し、45ℓゴミ袋 6 袋分と大きなポリバケツ、旅行用大型ケース等の成果でした。井坂、中島は 2 馬力エンジンのモーターボートで母船係をやりました。

今日で参加 2 回目の藤田君は、流れに逆らってぐいぐい漕ぐ姿は堂々としていました。さすが、現役カヌー部の貫録を感じました。

綾瀬橋の下へ上陸して、蒲生ガストで休憩し戻りました。
今回は、橋下の大型ごみを 2 個回収しましたが、橋上から岸辺へ投げ捨てたものと思われます。水面であろうと、土手であろうと家庭で使用のした大型ごみの処分は、きちんとした手続きで処理してほしいものだと感じました。三密に気を付けて活動しました。

幼児用ライフジャケットの浮力テスト

□会員のMさんが、幼児用のライフジャケットの浮力テストを実施してくれました。

《実験結果》　　**写真１**　浮力 3 kg　　**写真２**　浮力 4 kg

適否を体重で判定

□頭部の重さは、体重分の 1/10 として計算します。（日本人男児の統計による）

① 3～4 歳幼児の体重　13 kg～15 kg　　→　頭部の重さ 1.3 kg～1.5 kg

② 4～5 歳幼児の体重　15 kg～17 kg　　→　頭部の重さ 1.5 kg～1.7 kg

になります。水の比重を 1.0 基準として考え、人体は比重 0.9（脂肪が多い人）～1.1（骨太・筋肉質）と考えます。

《考察》

□ライフジャケット無しで 3 歳幼児・体重 13 kgが水中に転落します。標準体型であれば比重は 1.0 ですので、水中に留まるでしょう。ここで、浮力 1.3 kgのライフジャケットを付けているだけで、頭部全体が水面から出ます。救助艇が近づき 3～4 分で救助されます。

《結論》

写真 1 枚目のライフジャケットは体重 30 kgの子どもでも頭部が浮くという計算になります。写真 2 枚目は体重 40 kgまで救えるライフジャケットだとわかります。体重を確認し、体に密着させ、ベルトを股下に通し、安全第一で今後も活動して参ります。（文責　中島）

2020「夏休みカヌー教室」の 2 日間

綾瀬川へオイルフェンス(報告)

8/1･8/2 の二日間、国土交通省中川出張所の許可を頂きオイルフェンスを張りました。ペットボトル、空き缶、空き瓶、発泡スチロール、コンビニ弁当殻など **45ℓビニール袋 2 袋分、二日間で計 4 袋の成果**でした。カヌー教室の時間帯は、引き潮でかなりの水流があり子ども達には無理でしたので大人が回収しました。5 月の「海ごみゼロウイーク」に続き 2 回目の社会実験も無事終えました。今後も、東京湾へプラゴミを流さない活動を続けてまいります。